

I. 令和元年度事業報告

[公益目的事業]

1. 観光振興に関する事業

地域活性化及び国際交流の促進を図ることを目的に、国内外から多くの観光客を誘致した。

(1) 海外プロモーション事業

行政及び民間企業等と連携し、アジア地域等からの外国人観光客誘致拡大を図った。

① 誘致事業

台湾やタイ等の都市部において、観光目的地としての仙台の認知度を高めるため、市民向けに仙台の魅力をも PR した。また、仙台を訪問先とする旅行商品造成や現地の雑誌等へ仙台の記事掲載を促すため、相手国の旅行エージェントやメディアを対象に誘致 PR 事業を実施した。

i. 旅行博覧会・商談会等への参加支援

タイのバンコクで6月及び12月に開催した「タイ現地セミナー・現地エージェントセールス」に参加した宿泊施設や観光事業者に対して渡航費用の一部を助成した。

・助成件数 4件 200,000円

ii. 台湾、タイにおける観光客誘致プロモーションの実施

ア 台湾、タイでの見本市への出展

- ・台湾：大台南国際旅行博 令和元年11月22日（金）～25日（月）
- ・タイ：タイ国際旅行博第25回 令和元年 8月22日（木）～25日（日）
タイ国際旅行博第26回 令和2年 1月16日（木）～19日（日）

イ 台湾、タイにおける現地誘致営業

- ・台湾：仙台市、山形市、台南市旅行商業同業公会と連携し、台南市において現地旅行会との商談会ならびに企業への訪問セールスを実施した。（11月）
- ・タイ：仙台・タイ誘客促進サポートデスクと連携し、タイ現地セミナー、現地エージェントセールス及び、タイ旅行業協会訪問を実施した。（6月）

ウ 仙山連携として台湾エージェントを招請し観光スポットの訪問を実施した。

iii. タイインセンティブツアー関係者の招請

タイ現地旅行エージェント関係者を招請し、観光スポット等の訪問をアテンドした他、インバウンドセミナー、タイ観光セミナーを実施した。

- ・招請期間：令和2年1月28日（火）～2月2日（日）
- ・招請者数：16社20名
- ・インバウンドセミナー 日本側参加：7社
- ・タイ観光セミナー 日本側参加：20団体31名

iv. 日本国内での商談会の開催

仙山連携として山形市、仙台市が招請した台湾エージェントとの商談会を実施した。

- ・招請期間：令和元年10月3日（木）山形、10月4日（金）仙台
- ・参加者数：台湾 7社 7名
日本 30社41名（仙台：14社20名、山形：16社21名）

v. WEBを活用したインセンティブツアーの情報発信

インセンティブ専用ホームページにおいて、支援情報の発信を行った。

vi. インセンティブツアーの支援

仙台に宿泊するインセンティブツアーへ各種おもてなしメニューを提供した。

- ・提供件数12件（タイ：6件，台湾：4件，中国：2件）

vii. 相互プロモーションの実施

仙山連携として招請した台南市政府観光旅游局や現地観光事業者等とともに，仙台及び山形の旅行会社を訪問し，台南市等へのアウトバウンド促進のサポートを行った。

② 受入整備事業

海外からの旅行者が仙台に滞在中，快適に過ごすことができるよう，環境整備を図った。

i. 体験プログラムの創出

観光をはじめ，ビジネス出張，スポーツ観戦，イベント参加など様々な目的で仙台を訪れる国内外からの来訪者を対象に，既存の体験プログラムの磨き上げを行うとともに，新たな体験プログラムを発掘，創出し，旅行者のニーズに合わせた多彩な体験プログラムの提供を行った。

- ア 専用WEBサイト『仙台旅先体験コレクション』（日・英）令和元年10月30日（水）開設
掲載プログラム数（伝統工芸・ものづくり，アクティビティ，食体験，伝統文化，まち歩き等）
日本語サイト：385本※令和2年3月31日現在
英語サイト：189本※令和2年3月31日現在（うち，英語専用プログラム数は11本）

ii. インバウンドセミナーの開催

訪日外国人受け入れに積極的な宿泊施設・観光施設の従業員を対象におもてなし等，訪日外国人の受入に必要な知識や環境整備を目的とした研修会を多文化共生事業と連携し開催した。

令和元年度外国人観光客対応力向上セミナー

【第1回】外国人観光客対応力向上セミナー

～2019年ラグビーW杯真只中！

押さえておくべき現状と対策 インバウンド市場をデータから分析～

令和元年10月 2日（水） 58名参加

【第2回】外国人観光客対応力向上セミナー ～タイ おもてなし編～

令和元年11月 7日（木） 46名参加

【第3回】外国人観光客対応力向上セミナー ～タクシー業界 カタカナ接客英語編～

令和元年11月12日（火） 32名参加

【第4回】外国人観光客対応力向上セミナー ～接客中国語会話（宿泊・飲食編）～

令和元年11月19日（火） 20名参加

（2）国内プロモーション事業

仙台を訪れる国内観光客の一層の拡大を図るため，行政及び民間企業等と連携し，各種事業を実施した。

① 観光行事等開催支援事業

地域観光行事等に対し開催支援を行った。

i. 祭り・イベント開催の支援

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI光のページェント等に対し協賛負担金を拠出するなど実行委員会と連携し、お祭り・イベントの開催支援を行った。

② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く、かつ仙台の認知度向上につながる観光関連企画やプロスポーツと連携し、仙台の魅力づくりと誘客促進を図った。

i. 仙台七夕まつり等祭り・イベントへの参画

仙台市内で開催された「仙台七夕まつり」等のお祭り・イベントを活用し、国内外の観光客に対し、観光や食、体験プログラム等、仙台の魅力をPRした。

ii. 東北絆まつりへの参画

福島で開催される「東北絆まつり」において、仙台市、仙台商工会議所等と連携し、観光PRを実施した。

iii. 宮城県観光キャンペーン2019への参画

宮城県観光キャンペーン2019（5月～翌3月）に併せた取り組みを行ったほか、仙台での滞在満足度を高めるため、関係機関と連携し各種事業を実施した。

iv. 旅行商品の造成支援

旅行会社が造成する旅行商品が掲載されたパンフレットに対し、仙台の観光情報等の掲載を条件に、作成費用の一部を助成した。（年2回）

v. プロスポーツを活用した誘客促進及び情報発信

在仙のプロスポーツチーム支援組織「仙台プロスポーツネット」と連携し、プロスポーツを活用した誘致・情報発信を行った。

vi. 観光誘致セールスの実施

首都圏旅行会社等に対し、誘致セールスを実施した。

- ・平成31年4月11日（木）～4月12日（金）実施、商品企画造成部門7社及び旅行図書出版社2社訪問

- ・令和元年10月24日（木）～10月25日（金）実施、商品企画造成部門6社及び旅行図書出版社2社訪問

③ 教育旅行受入促進事業

仙台市内の教育旅行に対応できる関連施設（宿泊施設、文化・観光施設、工場等）と連携し、関連情報を把握、整理するとともに、本市の教育旅行に関する問合せや相談に関して、市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また、他県の旅行会社や学校に対して、行政や民間企業等と連携し、セールス活動や現地説明会等により、総合的な誘致活動を行った。

i. 修学旅行誘致キャンペーンの実施

ア 仙台市、宮城県、宮城県観光誘致協議会等関係団体と連携して、北海道での現地プロモーションを実施し、中学校教育旅行の誘致を図った。

【札幌会場】

- ・令和元年11月27日（水）実施、旅行会社9社及び中学校14校参加

【函館会場】

- ・令和元年11月28日（木）実施，旅行会社4社及び中学校1校参加，セールス7校訪問
- イ 東北観光推進機構「教育旅行誘致部会」が実施する事業と連携し情報発信を行った。
- ウ 伊達な広域観光推進協議会と連携し，首都圏，中部地区，関西からの教育旅行の誘致を行った。

【関西圏旅行代理店説明会及び代理店訪問】

- ・令和2年1月14日（火）～16日（木）実施
- エ 東北地区の広域連携により各旅行会社へ教育旅行の誘致活動を行った。

④ 観光客受入整備事業

仙台市内の周遊を促すためのパンフレット等の作成及び設置，受入体制の整備等の事業を行った。また仙台の歴史や魅力を伝える「観光ボランティアガイド」を支援し，観光客の受入体制の強化を図った。さらに，観光客誘致に取り組む東北観光推進機構，仙台まるごとパス運営協議会等への会費負担を行うとともに，これらの組織と連携を図りながら観光客の受入の環境整備をすすめた。また，宿泊施設団体と連携し，宿泊客増大に向けて各宿泊施設と緊密な情報交換ができるようネットワークの強化を図った。

i. クーポン付街歩きMAPの作成

市内中心部の飲食・お土産品販売店舗等の協賛と宿泊施設の協力により，市内の宿泊客を対象にクーポン付街歩きMAPの配布を行った。（4～3月）

- ・協賛店舗35社41店舗，配布先宿泊施設63施設

ii. 青葉すずのすけを活用した情報発信

仙台・青葉まつりの公式キャラクター青葉すずのすけが，市内街中や観光施設等を訪問し，観光客と記念撮影等でふれあいながら観光情報等の発信を行った。

ふれあいの様子をSNS（Facebook）で即日情報発信をし，仙台観光の喚起を行った。

iii. 観光ボランティアガイド団体の活動支援

ア 仙台市内で活動している観光ボランティアガイド団体が主催する事業等に対する助成を行った。

交付団体数	10団体
金額	558,000円

イ 瑞鳳殿，仙台城跡，大崎八幡宮等で活動している，観光ボランティアガイド団体と連携した『観光ガイドと行く!!「伊達な名所」巡り』を実施した。

- ・10月5日～11月30日の土・日・祝（計19日間）実施，9,066人案内
- ・実施箇所：瑞鳳殿，仙台市博物館，仙台城址，大崎八幡宮，北山五山，陸奥国分寺薬師堂，仙台駅東口界限

iv. 街角案内所における情報発信

仙台市内の商業店舗等と連携して設置している街角案内所18施設において，観光情報をはじめ定期的な情報発信とパンフレット類の提供を行った。（通年）

v. 宿泊施設空室情報の提供

JR仙台駅2階の仙台市観光情報センター内に宿泊施設の空室情報を確認できる端末を設置し，当日及び翌日の空室情報を日本語及び英語で提供した。（通年）

vi. 他団体との連携による情報発信

「スポーツコミッションせんだい」への参画による観光情報の発信及び受入整備を行った。

vii. 体験プログラムの創出（再掲）

viii. 仙台まるごとパス運営協議会等の事務局運営

仙台圏の二次交通商品である「仙台まるごとパス」と「るーぷる仙台」の宣伝・販売促進を目的に設立された「仙台まるごとパス運営協議会」並びに「仙台市観光シティループバス運行協議会」事務局の運営を担った。

ア 仙台まるごとパス運営協議会事務局運営

- ・リーフレット，ポスター，特典ブック等の作成と活用
- ・パス販売促進策の推進と広報宣伝の実施
- ・販売実績

期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
枚数	19,592枚（前年度比97.4%）

イ 仙台市観光シティループバス運行協議会事務局運営

- ・リーフレット等の作成と活用
- ・乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施
- ・利用実績

期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
乗車人員	586,862名（前年度比100.4%）

（3）仙台西部地区観光振興事業

仙台の観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため，各種事業を展開した。

【各地区共通】

i. 仙台西部観光振興推進協議会の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図る上でのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」の事務局運営を行った。

ii. 地域活性化支援事業の助成

仙台西部地域で活動する団体が，観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を目的に実施する事業に対して，経費の一部を助成し地域活動の促進と活性化を支援した。

項目	件数	金額
秋保地区	5件	3,045,000円
作並・定義地区	6件	4,575,000円
泉西部地区	3件	1,446,000円
秋保，作並・定義，泉西部地区にまたがるもの	1件	1,665,000円
秋保，作並・定義地区にまたがるもの	1件	1,768,000円
合計	16件	12,499,000円

iii. 観光事業者等との連携による観光振興策の創出

仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を図り，観光振興策の創出等に繋げた。

職員参加状況

(延べ人数)

時間帯	早朝	時間内	夜間	休日	計
職員数	2	37	9	28	76

iv. クーポン付マップの作成

仙台西部地区（秋保・作並・定義・泉西部）を網羅したクーポン付マップ等を作成配布し、観光客入込数の増加を図った。

・印刷部数 11,000部

① 秋保地区の観光振興に関する事業

仙台市秋保地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域での魅力向上に繋がる企画を実施した。また観光に関わる設備（街路灯・観光看板等）の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境を整備するとともに、これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行う会議を定期的で開催した。

i. 観光施設等の維持管理

秋保温泉の街路灯施設、案内誘導柱、案内看板、歓迎こけし塔等の維持管理等を行った。

ii. 秋保温泉郷旅あるきマップ等の作成

秋保温泉郷内をウォーキングやサイクリング等で楽しめるマップ等を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

iii. 祭り・イベント等の開催支援

秋保商和会観光事業、大東岳山開き、まつりだ秋保等への開催支援を行った。

・大東岳山開き 令和元年 5月26日（日）

・まつりだ秋保 令和元年11月10日（日）

作並・定義地区の観光振興に関する事業

仙台市作並・定義地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域の魅力向上に繋がる企画を実施した。また観光に関わる設備（街路灯・観光看板等）の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境を整備するとともに、これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行う会議を定期的で開催した。

i. 観光施設等の維持管理

作並温泉の街路灯施設、歓迎こけし塔廻り、案内看板や定義地区の街路灯施設、歓迎塔の維持管理を行うほか、大倉ダム周辺の桜の天狗巣病対策として剪定を実施した。

ii. 作並温泉郷・定義旅あるきマップ等の作成

作並温泉郷及び定義地区をウォーキングやサイクリング等で楽しめるマップ等を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

iii. 祭り・イベント等の開催支援

定義如来夏祭り、ほっこり作並への開催支援を行った。

・定義如来夏祭り 令和元年8月 3日（土）

・ほっこり！作並事業 令和2年2月15日（土）

② 泉西部地区の観光振興に関する事業

仙台市泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域の魅力向上に繋がる企画を実施した。これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行う会議を定期的で開催した。

i. 泉西部旅あるきマップ等の作成

泉西部地区をウォーキングやサイクリング等で楽しめるマップ等を作成・配布し、観光客に対し

同地区の魅力情報を提供した。

ii. 祭り・イベント等の開催支援

泉ヶ岳山開きへの開催支援を行った。

- ・泉ヶ岳山開き 平成31年4月20日（土）

（4）せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的に、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許認可の簡便化、市民エキストラの手配等を実施した。また支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を実施した。

① せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

i. ロケーション撮影誘致と支援業務

国内の映像作品の他、海外作品の支援の問い合わせも受け、関係各所と連携の上、対応を行った。

ii. 地元ロケ作品の積極的なPR活動の展開

年度内に大型作品4作品が全国公開され、関係各所と連携し、ロケ地である仙台・宮城のプロモーション活動を積極的に展開した。

- ・映画「凧町」を活用したプロモーションの実施（6月）
- ・映画「アイネクライネナハトムジーク」を活用したプロモーションの実施（9月）
- ・映画「Last Letter」を活用したプロモーションの実施（1月）
- ・映画「弥生，三月」を活用したプロモーションの実施（3月）

iii. 地域啓発事業

- ・地元メディア及び紙面媒体等を通じたフィルムコミッション活動の告知
- ・仙台短編映画祭2019への参画，等

iv. 支援実績

- ・映画，TV番組，CM，書籍等 支援件数180件（うち撮影実績42件）

（5）仙台・青葉まつり支援事業

大規模な祭りの魅力を活かした観光客拡大を目的に、仙台を代表する祭りの一つである仙台・青葉まつりの協賛会事務局に関する業務のほか、伊達政宗公山鉾の巡行に関わる業務を実施した。また、青葉まつり開催に伴い、伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」において、仙台の名品・工芸品を奉納し、一定期間「瑞鳳殿資料館」において展示を実施した。

① 仙台・青葉まつり支援事業

i. 第35回仙台・青葉まつりの開催

- ・開催日 令和元年5月18日（土）・19日（日）
令和初の開催となった第35回仙台・青葉まつりは「奉祝～縁を結び，新時代をひらく～」と銘打って実施し，2日間で過去最高の約971，500人の人出があった。宵まつりの仙台宵山鉾及び本まつりの時代絵巻巡業において，政宗公山鉾の運行を行った。

ii. 役員会の実施

- ・開催日 令和2年1月30日（木）
- ・内容 令和2年度第36回仙台・青葉まつりの概要について協議・確認
 - *開催日 令和2年5月16日（土）・17日（日）
 - *実施方針 復興五輪を後押しし、世界に向けて仙台の元気を届けるまつりとして「フレイフレーTOHOKU2020！魅せたい、伊達のまつり」をテーマとして、盛大に開催する。

2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に、仙台の物産品・名産品等のPRをはじめ、物産品・名産品等の販路拡大のための支援等を行った。仙台ならではの物産品、優れた技術をもって製作された伝統的工芸品等に関して、パンフレット等の作成及びWEB上でPRを行った。また、仙台の工芸品等について、展示会等の手段を通じ広く一般に公開される機会を提供し、仙台地域の伝統文化の理解促進を促した。

(1) 物産振興に関する事業

① 物産振興に関する事業

i. 物産関係団体との連携強化

- ア (公社)宮城県物産振興協会・観光土産品公正取引協議会との連携
- イ 仙台箆笥協働組合との連携
- ウ 仙台商工会議所との連携
- エ 仙台市産業振興事業団との連携
- オ 仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会との連携
 - ・情報発信：15件

ii. 地元銘品・銘菓や伝統工芸品等の奉納と展示（奉納の会）

瑞鳳殿において伊達政宗公に地元銘品等を食品・工芸品など物産関連45社が奉納するとともに、奉納品を瑞鳳殿資料館に展示した。（5月）

iii. 震災復興支援物産展の開催・協力

東日本大震災以降、復興支援をいただいている全国の自治体や関係団体からの物産展への出展依頼に関し、賛助会員に周知並びに出展調整を行った。

- ア 東北絆まつり2019仙台
 - 令和元年6月1日（土）～2日（日）福島市にて開催
- イ 震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応
 - 対応件数 2件

iv. 仙台銘品ガイドの作成

市内の物産パンフレット（商品名、メーカー、問合せ先等掲載）である仙台銘品ガイドを増刷し、物産品のPRに活用した。

- ア 物産パンフレット「仙台の銘品ガイド」の増刷
 - 増刷部数：70,000部

v. 仙台市工芸展の開催

仙台の工芸品の展示・販売会を開催した。

ア 2020仙台市工芸展

・開催日：令和2年2月21日（金）～3月1日（日）

・開催場所：エスパル仙台本館

イ 仙台ものづくりフェア

・開催日：令和元年10月18日（金）～20日（日）

・開催場所：AER

vi. 物産品に関するプロモーションの実施

ア 姉妹都市等への物産品PR

実施件数 2件（白老町6月・広島市12月）

イ 展示会・物産展等出展

vii. 物産展等への出展助成

伝統的工芸品組合が実施する工芸品の認知度向上及び販路拡大に向けた取り組みに対して、経費の一部を助成する。

ア 仙台の伝統的工芸品出展事業等への助成

・助成件数 1件 697,000円

3. コンベンション推進に関する事業

仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図ることを目的とし、当協会が蓄積してきたネットワークや知識・情報を有効に活用し、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業を実施した。

(1) コンベンション誘致・支援事業

① コンベンション助成事業

国際・国内会議の開催を仙台市に誘致するとともに、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与することを目的に、コンベンション主催者に対し、開催助成、シャトルバス運営助成や開催準備資金貸付等を行った。

項目	件数	金額
コンベンション開催助成(国際会議, 国内会議)	27件	26,725,000円
市民公開講座開催助成	3件	877,000円
シャトルバス運行助成	1件	500,000円
開催準備資金貸付	1件	2,000,000円

また、一般財団法人みやぎ産業交流センターに対して、6件の小規模国際会議助成金交付の推薦を行った。

② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でコンベンションを開催するメリットなどを宣伝するセールス活動及び招請活動を行うとともに、IME（国際MICEエキスポ）に出展し、仙台の魅力をもPRすることでコンベンションの誘致拡大を図った。

また、仙台市内の大学等を訪問し情報収集を行うほか、招請活動においては主催者の仙台への来訪費用の一部を助成するなどの事業を展開し、コンベンション関連団体と連携して誘致活動を積極的に実施した。

i. 国際会議に重点を置いたコンベンション誘致セールス

仙台開催の可能性を有する国際会議関係者への誘致活動及び情報収集を行った。

- ・東北大学 訪問セールス 6回, キャンパスでの説明会開催 3回
- ・首都圏 3回
- ・海外 1回

ii. 国際会議協会 (ICCA) 事業活用と総会出席による国際会議誘致情報収集

ICCA のデータベースを利用した情報収集を実施した。また, アメリカ合衆国ヒューストンで開催された ICCA 総会に出席し, 世界のコンベンション市場の最新の動向や先進都市の開催状況の調査を行うとともに海外のコンベンション関係者とのネットワークを強化した。

iii. 国際 MICE エキスポ (IME) による商談と会議情報収集

国内最大の MICE 商談会である (IME) に出展し, 仙台の PR 及び誘致活動を行った。

- ・開催日 令和2年2月26日 (水)
- ・場所 東京国際フォーラム
- ・主催 観光庁, JNTO (日本政府観光局), JCCB (日本コンgres・コンベンション・ビューロー)
- ・仙台ブース来訪団体数 15団体
- ・商談件数 15件

iv. Meet Japan等コンベンション主催者招請の実施

ア JNTO 主催の国際会議海外キーパーソン招請事業 (Meet Japan) への参加
JNTO が招請した海外の国際会議キーパーソンとの商談会に参加した。

- ・開催日 令和元年12月12日 (木)
- ・場所 東京: AP東京丸の内
- ・商談数 7件

イ コンベンション主催者招請

仙台を開催候補都市のひとつとして検討している国際会議や全国会議の主催者を招請し, 視察対応を行った。

- ・実施件数 2件

v. 東北地区コンベンション合同誘致懇談会における情報収集と商談

東北地区コンベンション推進協議会主催の合同誘致懇談会に出展した。

- ・開催日 令和元年12月12日 (木)
- ・場所 東京・都市センターホテル
- ・実施件数 7件

vi. MICE 翻訳事業

展示会出展時のパンフレット, WEB サイトでの情報掲載等において, 正確かつ効果的なネイティブ翻訳による広報を実施した。

vii. 国際 MICE 見本市 (IMEX) 出展による MICE 情報収集

5月にドイツのフランクフルトで開催された IMEX に出展し, 国際会議をはじめとする MICE 情報の収集を行うとともに, 仙台の国際会議開催環境の広報及び誘致活動を行った。

viii. 東北大学キーパーソンへの誘致セールス

国際会議開催の可能性がある東北大学の教授などを訪問し, 当協会の支援内容の説明を行った。

- ・訪問件数 96件

ix. MI ニーズ調査及び誘致セールスの実施

企業が実施するM（ミーティング）、I（インセンティブ）に関する主催者情報の調査収集ならびに誘致セールスを実施した。

- ・アンケート調査：企業929社うち回答204社、旅行代理店55社うち回答18社
- ・訪問ヒアリング：企業45社
- ・訪問ヒアリング及びセールス：旅行代理店18社（19部署）

x. メールマガジン（仙台コンベンションニュース）の発信

仙台のコンベンション関係情報として、当協会の事業の報告やイベントの告知ならびに、仙台市、仙台国際センターの情報を併載したメールマガジンの発信を行った。

- ・実施回数6回

xi. 国際会議開催情報の収集及び誘致活動

ICCA 総会時に行われる Business Exchange に参加し国際会議の情報ならびに海外他都市の誘致方法についての情報収集を行った。

③ コンベンション支援事業

仙台で開催されるコンベンションの円滑な運営を図るため、その開催に必要な助言・サポート及び仙台紹介のためのツールの提供など、事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施した。また、コンベンションボランティアの育成・派遣を行うなど、仙台でのおもてなしの向上を図った。

i. 国際会議ボランティア事業

ア 募集

学生の国際会議ボランティアの新規募集を行った。

- ・新規登録者数15名（総登録者数48名）

イ 派遣

国際会議のホスピタリティデスクや案内対応として、国際会議ボランティアを会場に派遣した。また、ホスピタリティデスクでは、日本文化等の体験コーナーも設置した。

- ・派遣件数 11件 うちホスピタリティデスク設置 5件

ii. コンベンションウエルカムボードの掲出

国際会議、全国会議を対象にJR仙台駅2階のウエルカムボード等に歓迎表示を行った。

- ・掲出件数 143件

iii. コンベンション誘致・支援ツールの作成

パンフレット等、コンベンション誘致や支援のツールを作成した。

- ・コンベンションバッグ
- ・文化観光施設割引券
- ・仙台 MICE 充実ガイド
- ・各種支援のご案内
- ・国際会議開催ベストプラクティス
- ・10年カレンダー
- ・WELCOME TO 仙台

iv. 会議支援メニューの提供

国際会議及び全国規模の国内会議において、アトラクション等、おもてなしメニューの提供を行った。

- ・提供件数 国際会議：4件
国内会議：9件

v. MICE サポートセンター事業

コンベンション等 MICE 受入の環境改善を目的とした各種情報の収集、セミナー等の開催を行ったほか、支援情報の提供を行った。

ア 主催者支援

- ・ユニークベニュー・アトラクション等の映像 DVD の提供
- ・コンベンション参加者向けウェブサイトの運営
- ・国際会議情報の海外発信

イ 受入環境レベルアップセミナー開催

ステークホルダー、賛助会員に向けた講演会と施設視察を開催した。

- ・開催日 令和元年7月24日(水)
- ・場所 東北大学知の館
- ・テーマ 「MICE」の現状と今後
- ・参加人数 46名

ウ 会議開催支援についての情報提供

仙台国際センター、仙台市と共催で仙台国際センター全館を利用した「仙台コミュニケーションフェア in 仙台国際センター」を開催し、会議関係者に対し当協会の支援内容の情報提供説明を行った。

- ・開催日 令和2年2月5日(水)

エ 仙台コンベンションおもてなし研究会開催

コンベンション参加者向けに、「歓迎ムード醸成」をテーマに仙台ならではのおもてなしを考える研究会を開催した。

- 第1回：開催日 令和元年10月17日(木) 参加人数20名
- 第2回：開催日 令和元年11月19日(火) 参加人数12名

また、その意見を反映し、外国人客歓迎のポイントをまとめたリーフレット「仙台ウェルカム大作戦」を作成した。

4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人市民が、自らの個性を活かしながら、地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目指し、各種事業を実施した。また、国際交流や国際理解などに関する各種事業を実施し、活力ある地域づくりを行った。

(1) 外国人市民支援

① 日本語学習支援事業

生活に必要な日本語の習得を目的として、市民団体や関係機関との協働により、外国人市民のための日本語講座等を開催した。また、マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

i. 日本語講座の開催

市民センターや市民団体との協働により、市内7か所に日本語学習支援の場をつくり、外国人市民が生活に必要な日本語の習得を支援した。

ア せんだい日本語講座

前期：4月～9月／後期：10月～3月開講、前期125名／後期125名受講

- イ 日本語ティールーム（託児付き）
4月～3月開講，55名受講
- ウ さっと日本語クラブ（小中学生対象）
5月～2月開講，24名受講
- エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援
 - ・外国人の子ども・サポートの会
 - ・にほんごのもり
 - ・泉日本語サロン
 - ・茂庭台日本語サロン

ii. 日本語ボランティアの活動支援

日本語学習の希望者に，学習支援のために日本語ボランティアを紹介するとともに，登録ボランティア向けの研修会を開催した。

- ア 日本語ボランティア研修会（全2回）
令和元年11月30日（土）「外国人材の受入れ・共生のための日本語」
講師：野田尚史氏（国立国語研究所教授）47名受講
令和2年 2月 9日（日）
「どうなる？これからの日本語教育～改正入管法と日本語教育推進法から考える～」
講師：土井佳彦氏（NPO 法人多文化共生リソースセンター東海代表理事）63名受講
- イ 日本語ボランティアの登録と学習者への紹介
登録者ボランティア数99名，学習者数45名
- ウ 市民団体が行う研修会への協力

② 生活支援事業

外国人市民が，交通安全や防災，文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び，地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等を実施した。さらに，生活に必要な情報の翻訳と広報を行った。言葉や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため，ガイダンスや学習教室の開催，情報提供等を行った。

i. コミュニティ通訳の育成・派遣

行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをする「コミュニティ通訳サポーター」を登録，派遣し，サポーター向けのフォローアップ研修を開催した。

- ア 登録者数 27名（9言語）
- イ 派遣数 24件
（アーチル10件，中学校4件，保育所4件，高校3件，小学校2件，区役所2件）
- ウ 研修会 令和2年1月17日（金）実施「こどもの発達障害について」
（外国につながる子どもサポートせんだいコーディネーター研修会と合同開催）
講師：金彦志氏（宮城学院女子大学 特別支援室主任 准教授）
参加者 15名

ii. 生活オリエンテーションの開催

外国人市民が安心・安全に暮らすため，日本語講座，日本語学校，専門学校，大学等に出向いて交通ルール，ごみ分別，防災等に関する生活オリエンテーションを行った。

- ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」

4月～2月（全4回）実施，延べ80名参加
救命救急，各種お知らせ，日本の医療について

イ 出前講座

通年28回実施，延べ1,945名参加
日本の習慣・マナー，交通安全，ゴミ分別，防災，税金・年金に関する行政関係の通知
について

iii. 生活情報の多言語化

健康，子育て，教育など外国人市民の生活に必要な情報を，行政機関や市民団体と連携して多言語に翻訳・提供した。（全22件，主にベトナム語，ネパール語への翻訳）

ごみ分別4件，防災・消防4件，公共施設等表示3件，保険年金2件，戸籍関係2件
税金2件，生活マナー2件，自転車1件，消費生活1件，健康1件

iv. FMラジオ多言語放送による情報発信

FMラジオ4局の協力を得て多言語による情報発信を行った。平常時は季節の話題や生活情報などを提供し，災害発生時には支援情報を提供するツールとして活用した。

- ・放送日 言語ごと月1回15分間放送
- ・内容 生活情報，イベント情報等
- ・言語 英語，中国語，韓国語，やさしい日本語
- ・協力 エフエムたいはく，fmいずみ，ラジオ3，エフエムなとり

v. 外国につながる子どもの支援

外国人児童生徒をはじめとする外国につながる子どもを支援するため，「進路ガイダンス」，「夏休み教室」，「小学校入学準備講座」を実施するとともに，通訳や情報提供，学習支援のできるコーディネーターを学校等に派遣した。

ア 「外国につながる子どもサポートせんだい相談デスク」

- ・相談事案数 58件
(小学校 24件，中学校 18件，未就学 7件，他 9件)
- ・コーディネーター派遣数 15件
(小学校 1件，中学校 9件，他 5件)
- ・研修会
令和2年1月17日（金）実施「こどもの発達障害について」
(外国につながる子どもサポートせんだいコーディネーター研修会と合同開催)
講師：金彦志氏（宮城学院女子大学 特別支援室主任 准教授）
参加者 15名 【再掲】
- ・教材・参考資料の整備と貸出

学校現場等で有効な日本語学習の教材を整備し，貸出を行った。（21教材 各10部）

イ 日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2019宮城

令和元年8月3日（土）実施，親子19組31名参加

高校進学に関する説明，教員からのアドバイス，進路相談等

ウ 日本語を母語としない子どものための夏休み教室

令和元年7月30日（火）～8月2日（金）実施

外国につながる子ども 24名，支援協力者 37名参加

教科学習及び日本語学習

- エ 外国人児童と家族のための小学校入学準備講座（新型コロナウイルスの影響で中止）
令和2年2月28日（金）外国人保護者7名申込
小学校入学に関する説明，教員からのアドバイス，相談等

vi. 外国につながる子ども支援ガイドブックの作成

外国につながる子どもを持つ家庭に，日本の学校生活や家庭でのサポートなどについて理解してもらい，受け入れる学校現場には，初期対応から進学までを視野にいたしたサポートについて説明するガイドブックを作成，配布した。一般財団法人自治体国際化協会の助成を受けて実施した。

- ・「外国につながる児童生徒の受入れと指導の手引き」（学校向け）18頁，日本語500部
- ・「日本の中学校」（外国人保護者向け）14頁，日本語併記，英語，中国語各200部，韓国語，タガログ語，ベトナム語各50部
- ・「日本の小学校」（外国人保護者向け）14頁，日本語併記，英語，中国語，韓国語は改定タガログ語，ベトナム語は新規。（原稿作成のみ。印刷は令和2年度に実施予定。）

vii. 多言語による防災情報発信及び防災訓練の実施

防災教室の開催や，防災ガイドブックやDVDの活用により外国人市民の防災意識を高めるとともに，外国人住民が多い地域自治会と連携して防災訓練を行った。

ア 消防隊員，救急隊員対象外国人対応訓練

- ・令和元年5月30日（木）実施
宮城県消防学校，市内各消防署消防隊員・救急隊員 150名参加
- ・令和元年7月24日（水），25日（木）実施
仙台市宮城消防署配属消防隊員・救急隊員 60名参加

イ 外国人市民のための防災教室

- ・令和元年6月15日（土）実施
東北大学，東北福祉大学の学生等 約135名（日本人学生含む）参加

ウ 町内会等と連携した防災講座，防災訓練

- ・仙台防災枠組講座の共催
令和元年7月27日（土）実施 外国人市民8名参加
- ・仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練
令和元年8月30日（金）実施 関係者約400名参加
CIRや留学生交流委員が外国人観光客役として訓練に参加
- ・国見地区東部ブロック6町内会
令和元年11月2日（土）実施 外国人市民参加者数24名
- ・仙台防災未来フォーラムへの参加
令和元年11月10日（日）実施 43名参加
- ・秋季火災予防運動に係る合同消防訓練
令和元年11月13日（水）実施 外国人市民24名参加

エ Datefm 防災番組「Sunday Morning Wave」への協力

- ・放送日 毎月第2日曜日
- ・番組名 防災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」コーナー
- ・内容 日本語によるトーク及び母語による防災ワンポイントアドバイス

viii. 留学生へのリサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を図るため、仙台市が回収した放置自転車を宮城県自転車軽自動車商業協同組合の協力により修理し、市民団体と協力して留学生に斡旋・販売した。

- ・開催日 平成31年4月21日（日）
- ・会場 仙台国際センター
- ・販売台数 30台（購入希望者56名）

(2) 災害時の外国人支援

① 災害多言語支援センター運営事業

大規模災害発生時、外国人市民や旅行者など、言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するために仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行うとともに、発災時においては、外国語での情報提供や相談対応を行った。

i. 多言語支援センター設置・運営

- ・開催日 令和元年10月12日（土）～10月13日（日）
- ・場所 仙台多文化共生センター
- ・内容 台風19号に関する多言語情報発信・相談受付
（情報発信16件、電話相談11件）

ii. 多言語支援センター設置運営訓練

- ・開催日 令和元年12月2日（月）
- ・場所 仙台多文化共生センター研修室
- ・参加者数 36名（協会及び仙台市職員、災害時言語ボランティア等）
- ・内容 支援センターの活動、仙台市の防災、避難所巡回訓練

iii. 注意報・警報発令における多言語情報の発信

- ・件数 2件
- ・内容 ①台風19号（10月12日～13日）、②大雨（10月18日～19日）
- ・情報発信の手段：国際化事業部ブログ、Facebook、Twitter、メールマガジン

② 災害時言語ボランティア育成事業

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「災害時言語ボランティア」として募集し、研修を行った。

i. 登録

登録者数71名、対応言語19言語

ii. 研修会、訓練

ア 災害時言語ボランティアガイダンス

令和元年5月11日（土）実施 14名参加

イ 台風19号及び大雨時の情報発信

令和元年10月12日（土）、13日（日）、18日（金）、19日（土）、25日（金）、
26日（土） 4名参加

ウ その他の研修や訓練への参加

- ・外国人市民のための防災教室での通訳・訓練補助

- 令和元年 6月15日(土)実施, 11名参加
- ・宮城消防署 外国人対応訓練
- 令和元年 7月24日(水), 25日(木)実施, 5名参加
- ・仙台防災枠組講座への参加
- 令和元年 7月27日(土)実施, 7名参加
- ・仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練
- 令和元年 8月30日(金)実施, 4名参加
- ・町内会等の訓練への参加
- 令和元年11月 2日(土)実施, 8名参加
- ・青葉消防署秋季火災予防運動に係る合同消防訓練
- 令和元年11月13日(水)実施, 2名参加
- ・仙台防災未来フォーラムへの参加
- 令和元年11月10日(日)実施, 1名参加
- ・仙台市災害多言語支援センター設置訓練
- 令和元年12月 2日(月)実施, 3名参加

(3) 地域づくり支援事業

① 地域づくり支援事業

学校や市民センターなどが実施する国際理解講座に対し、外国人市民等の講師紹介や内容に関してのアドバイスをを行った。市民が自主的に行う国際交流、国際協力、多文化共生に関する活動に対して補助金の交付を行った。また、多文化共生社会の形成を目指して、外国人市民の状況や多文化共生について考える講座やイベントを開催した。

i. 国際理解の推進

学校、市民センター等が実施する国際理解事業に対して、講師の紹介や情報提供などの支援を行った。

人材の登録と派遣

- ・登録者数 84名(29の国と地域)
- ・派遣件数 48件(小学校32件, 中学校2件, 高校1件, その他7件)
- ・派遣講師数 124名
- ・参加者数 3,697名

ii. 市民団体による多文化共生活動等の支援

市民の自主的な国際交流、国際協力、多文化共生等の活動促進を図るため、事業経費の一部を補助した。

- ・補助金交付 12件 984,000円

iii. 国際フェスティバルの開催

国際交流・国際協力・多文化共生に関わる団体が一堂に会する「せんだい地球フェスタ」を開催し、異文化交流を通して多文化共生や国際貢献について考える機会とした。

- ・テーマ 「世界がもっと好きになる1日。地球レベルで遊ぼう！
A day to love the world more. The Earth is our playground!」
- ・開催日 令和元年9月23日(月祝)

- ・場 所 仙台国際センター展示棟
- ・内 容 団体活動紹介，ステージ発表，世界の文化体験，開発教育ワークショップ体験等，ドキュメンタリー映画上映等
- ・来場者数 約7，500名
- ・参加団体 71団体
- ・ボランティア 74名

iv. 多文化共生講座の開催

区役所や市民センターで窓口を担当する職員を対象として，外国人市民対応に関する研修を実施した。

ア 外国人市民対応研修

仙台市の職員等を対象とした研修会を実施した。

- ・警防訓練査閲
令和元年5月30日（木）実施 仙台市各消防署職員150名参加
- ・救急現場・火災現場における外国人住民対応訓練への協力【再掲】
令和元年7月24日（水），25日（木）実施 宮城消防署職員等60名参加
- ・外国人市民対応の基本
令和元年7月24日（水）実施 仙台市図書館職員18名参加
令和元年11月26日（火）実施 仙台市建設公社職員15名参加
令和2年 2月19日（水）実施 全区区役所職員31名参加
令和2年 3月23日（月）実施 仙台市交通局職員10名参加
- ・仙台市消防局集団災害救助訓練における外国人住民対応訓練への協力
令和元年12月 3日（火）実施 関係者115名参加

イ 各区民生委員児童委員協議会における，外国人住民への理解促進の協力への説明
令和元年 5月10日（金）泉区泉南地区民生委員児童委員34名参加

ウ その他

- ・市民まちづくりフォーラム「多文化共生社会の形成」
令和元年10月14日（月祝）実施 一般市民23名参加
- ・多様な人材が組織を変える！センダイバーシティ テーマ別セッション4
「多文化を企業のチカラに～外国人はパートナー～」への共催
令和元年11月19日（火）実施 企業担当者等40名参加
- ・「多文化共生シンポジウム in 仙台」への共催
令和2年 1月19日（日）実施 一般市民150名参加

（4）人材育成事業

① 人材育成事業

国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生をせんだい留学生交流委員として委嘱し，各種事業への協力を得るとともに，地球規模の課題や地域の課題について考える機会を提供した。

i. 留学生による多文化共生活動の促進

外国人留学生を，協会や仙台市が行う諸事業への協力などの活動を行う「せんだい留学生交流

委員」に委嘱し、その活動のための奨励金を支給した。

- ・人数 前期20名、後期20名
- ・活動内容 各種講座・ラジオ出演等、協会事業への協力、仙台市事業への協力

(5) 国際交流事業

① 派遣・受入事業

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団や青少年団の受入等の事業により、市民の国際交流活動を促進した。

i. 海外から訪れる市民団との国際交流の促進

仙台国際ハーフマラソン大会に参加する国際姉妹友好都市等選手団など、海外から訪れる市民団を受け入れ、ホームステイや文化体験を通して、市民交流を促進した。

ア 第29回仙台国際ハーフマラソン大会 国際姉妹都市等交流会

- ・開催日 令和元年5月12日(日)
- ・場所 江陽グランドホテル 鳳凰の間
- ・参加者数 211名(選手団含む)

イ アカプルコ市民団(日本のともだち協会)来仙

- ・受入期間 第1回:平成31年4月18日(木)
第2回:令和元年8月7日(水)
- ・受入人数 第1回:9名,第2回:6名
- ・内容 市役所表敬,市内見学,日本文化体験など

ウ ホストファミリーボランティア

- ・登録者数 63家庭
- ・内容 他団体が主催するホームステイ登録説明会の情報提供を行った。

ii. ダラスへの青少年団派遣

アメリカ合衆国ダラス市へ、公募した高校生6名を派遣し、ホームステイや青少年交流を行った。

- ・派遣期間 令和元年8月7日(水)~8月15日(木)8泊9日
- ・派遣人数 8名(高校生6名,同行者2名)
- ・派遣内容 市役所表敬,高校訪問,フードバンク,日系企業訪問,大学キャンパス見学,市民との交流会,ホームステイ体験など

5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

活力ある都市づくりに資することを目的として、仙台の観光及びコンベンション並びに多文化共生に関する調査・研究広報・情報発信を行うことにより、各分野における事業を推進するとともに、各種団体による地域における様々な活動を促進した。

(1) 調査・研究・広報事業

① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

コンベンション開催団体へのアンケート調査を実施し、その内容について分析・集約した情報を行政及び仙台市内の関連団体で共有し、コンベンション等受入のための意識向上を図った。また各種大会のデータを集約、分析し、コンベンション誘致活動に活かした。

i. コンベンション施設関係者との情報交換会の開催

会議施設やホテル等のコンベンション施設関係者及びコンベンション開催業務サポーターとコンベンション受入関係に関する意見交換を行った。

ア コンベンション施設関係者会議

第1回：開催日 令和元年6月18日（火） 参加 14団体 21名

第2回：開催日 令和2年1月27日（月） 参加 8団体 14名

イ コンベンション開催業務サポーター情報交換会開催

開催日 令和2年1月28日（火） 参加 5団体 6名

ii. コンベンション開催情報誌への広告掲載

工学系97学会が加入する日本工学会の年報へ広告掲載を実施した。

iii. コンベンションカレンダーの作成

仙台のコンベンション等開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。年2回作成・配布（実施時期：9月、3月）

iv. 日本コンgresコンベンションビューロー（JCCB）・日本政府観光局（JNTO）を活用した調査研究

JCCB・JNTOから発信される情報収集を行うとともに、全国のコンベンション関係協会との情報交換を行った。

ア JNTOへの国際会議開催情報の収集と実績情報の提供

イ JCCB事業（総会、ビューロー部会）への参加

v. 東北地区コンベンション推進協議会の事務局運営

東北新潟のコンベンション推進団体と情報の交換共有を行うとともに、広報等において連携を図った。

・総会 開催日：令和元年7月4日（木） 開催地：山形市

・研修会 開催日：令和元年10月24日（木） 開催地：会津若松市

vi. コンベンション情報の管理

コンベンション開催状況及び営業用情報の把握のため、データシステムの運用を行った。

vii. コンベンションアンケート調査の実施

コンベンション参加者へのアンケート調査並びに主催者へのヒアリング調査を行った。

ア アンケート調査 実施会議数：26件（国際会議13件，国内会議13件）

イ 報告書配布 賛助会員にコンベンションカレンダーと合わせて3月配布

viii. コンベンションに関する統計の誘致戦略への反映

コンベンション開催データの調査集計，開催動向の把握を行った。

ix. 観光コンベンションセミナーの開催

2020年に東京オリンピック・パラリンピック，2021年に東北ディステーションキャンペーンという大型イベントの開催が予定され，今後益々の交流人口拡大が期待される中，お客様をお迎えする上で大切な事とは何かを考える機会として，㈱オリエンタルランド理事 永嶋悦子氏を講師としてお招きし，講演会を実施した。

・テーマ 「輝いて働く～テーマパークのキャスト～

東京ディズニーリゾートに学ぶ」お客様をお迎えする事

- ・開催日 令和2年2月25日(火)
- ・場所 仙台ガーデンパレス 2階 「鳳凰」
- ・参加者数 講演会 83名

② 多文化共生等に関する調査研究広報事業

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究を行った。また、市民の理解促進を図るための広報事業を行った。

i. 多文化共生等に関する調査研究

多文化共生等にかかる現状、課題、今後の方向について調整・研究を行う他、各種協議会や研修会への参加を通して、関係機関とのネットワーク構築を図った。

- ・地域国際化協会連絡協議会総会(東京)
- ・東北・北海道国際化協会連絡協議会、研修会(札幌)
- ・都道府県・政令指定都市日本語教育推進会議(東京)
- ・多文化共生マネージャー養成コース(滋賀)

ii. 多文化共生等に関する広報

広報紙、メールマガジン、SNSを通して事業を広報し、多文化共生に関する意識啓発を行った。他団体からの依頼に応じて職員を派遣し、防災や多文化共生の取り組みを紹介した。

- ア 『仙台多文化共生センターだより』の発行(日本語英語併記/一部外国語併記)
2,500部/年4回発行
- イ 「国際化事業部ホームページ」の運営
ブログ, facebook, twitter(日本語, 英語, 中国語, 韓国語)
- ウ 「メールマガジン SenTIA メール」の配信
月5回程度発行(日本語, 英語, 中国語, 韓国語)
1,957名登録(日本語1,435名, 英語964名, 中国語161名, 韓国語73名)
- エ 事業広報等のための講師派遣
派遣回数:18回, 内容:防災・多文化共生について

③ 専門委員会調査研究事業

各事業の推進及び活性化を目的に、各専門委員会を設置し、外部有識者等からの意見・提言を求め各事業に活かした。

- i. 観光専門委員会 令和元年 7月25日(木)実施, 13名参加
同 宿泊部会 第1回:令和元年12月 4日(水)実施, 5名参加
第2回:令和2年 1月28日(火)実施, 5名参加
- ii. コンベンション推進専門委員会 令和元年 8月20日(火)実施, 12名参加
- iii. 物産専門委員会 令和元年10月 3日(木)実施, 8名参加
同 工芸部会 令和元年10月31日(木)実施, 4名参加
- iv. 国際化専門委員会 第1回:令和元年 7月23日(火)実施, 7名参加

(2) 情報発信事業

① 情報発信事業

国内外の観光客の誘致を目的に、仙台の最新の観光情報やイベント情報等を広く国内外に向けて情報発信した。また、多文化共生社会の形成を目的として、外国人市民の声や地域の現状等を各種媒体

にて広く発信した。その他、当協会の機関紙を定期的に発行することで、当協会の事業活動内容を広く周知した。

i. 観光宣伝パンフレットの作成

- ・ 仙台観光マップの作成配布
配布数 327,896部 (前年比 95.5%)
- ・ 仙台シティマップの作成配布
配布数 30,693部 (前年比 115.8%)

ii. 多言語版観光宣伝パンフレットの作成

- ・ 増刷部数：英語版 20,000部
簡体字版 13,000部
繁体字版 15,000部
韓国語版 5,000部
タイ語版 10,000部

iii. 仙台シティマップの作成

- ・ 増刷部数：英語版 20,000部
簡体字版 6,000部
繁体字版 6,000部
韓国語版 3,000部

iv. 仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」による情報発信

仙台市の観光、イベント情報、関連する役立ち情報等を紹介するWEBサイトの運営、管理を行った。

- ・ 総アクセス件数 年間1,626,078件
- ・ 総ページビュー数 年間2,120,331ページビュー数

v. 機関紙「SenTIA」の発行

協会の概要や、各部の主な事業を紹介するため機関紙を発行すると共に、当協会の事業案内を作成した。

- ・ 協会機関紙の第13号の発行 2,000部
- ・ 賛助会員名簿の発行 1,000部
- ・ 協会事業案内の発行 1,000部

vi. 首都圏案内所等での情報発信事業

仙台のパンフレットやプロモーションDVD等を東京駅に隣接する観光案内所「TIC TOKYO」にて配布、放映し、PRを行った。

vii. WEBプロモーションの強化

仙台観光情報サイト「せんだい旅日和」の総リニューアルを実施し、情報発信の強化を図った。

6. 情報提供・交流促進に関する事業

地域社会の健全な発展を目的として、情報提供や交流促進を担う各種施設を円滑に運営することにより、地域の観光の発展と国際交流の促進を図った。

(1) 観光情報施設の運営

① 仙台市観光情報センター運営事業

仙台・宮城はもとより東北に来訪される観光客等を対象に、JR仙台駅において市内観光情報や東北広域情報の提供および相談案内を実施した。

・利用実績

	年間利用実績（4月～3月）
日本人	143,756名（前年度比 87.5%）
外国人	17,943名（前年度比107.5%）
計	161,699名（前年度比 89.3%）

② 仙台市作並・定義地区観光案内所運営事業

仙台市作並・定義地区を訪れる観光客に対し、当該地区の観光地や物産、宿泊施設等を紹介するため、仙台市・定義地区観光案内所を運営した。

・利用実績（窓口案内・電話問合せ含む）

年間利用実績（4月～3月）
17,364件（前年度比89.0%）

(2) 仙台多文化共生センターの運営

令和元年6月1日より仙台国際センター「交流コーナー」を「仙台多文化共生センター」に改称し、事業を拡充し運営を開始した。国際交流や多文化共生の地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供するとともに、幅広い交流の機会やにぎわいの場を創出した。また、生活及び地域の観光に関する情報を収集し、外国人市民、旅行者、国際センター来場者等へ多言語での情報提供を行った。さらに、関係機関や市民ボランティア等と連携して多言語による各種相談を行ったほか、新規事業として外国語相談員の配置や専門相談会を開催した。

ア 開館日数 339日

イ 入場者数 19,823人（日本人13,606人、外国人6,217人）
1日平均58.5人（前年度比79.9%）

ウ 相談受付数 4,050件（日本人2,176件、外国人1,874件）
1日平均11.9件

エ 図書貸出数 1,322冊（和書876冊、洋書446冊）1日平均3.9冊

i. 外国人市民への情報提供・相談対応

常勤スタッフによる英語、中国語対応のほか、仙台多文化共生センターの開設にあわせて外国語相談員を新たに配置した。（韓国語、ベトナム語、ネパール語相談員がそれぞれ週1回対応）また、専門機関と連携し、外国人のための専門相談会を開催した。（仙台出入国在留管理局、仙台弁護士会、宮城県行政書士会、宮城労働局がそれぞれ月に1回程度開催。）

・相談受付数 外国人1,874件（再掲）

・専門相談会による相談受付件数 49件

ii. 行政窓口等におけるコミュニケーション支援

・371件（英語210件、日本語84件、中国語51件、ベトナム語10件、
韓国語9件、ネパール語1件、ヒンディー語1件）

iii. 国際活動・多文化共生に関わる団体の支援

国際交流・協力、多文化共生推進のための活動など、国際活動を行う市民団体に対して、情報提

供や活動スペースの提供を通じ、活動を支援した。

- ・国際活動団体登録数：148団体
- ・仙台多文化共生センター内「研修室」及び「ワークショップ」の利用登録団体：72団体

iv. 外国人観光案内所としての情報提供

- ・357件（日本人236件，外国人88件，外国人対応者33件）

v. 『生活便利帳（多言語版）』（仙台市発行）の編集

- ・仙台生活便利帳改訂版（多言語合冊版） 3,000部

vi. 広報誌『仙台多文化共生センターだより』の発行

- ・『仙台多文化共生センターだより』（日本語英語併記／一部外国語併記）
2,500部／回（年4回発行）

[収益事業]

1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便を図るため、仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営を行った。

(1) 観光駐車場等管理運営事業

① 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

- ・利用実績

	平成31年4月1日～令和2年3月31日
利用台数	31,112台（前年度比89.9%）
利用金額	17,092,500円（前年度比90.7%）

2. 物産・銘産品等販売事業

(1) 物産・銘産品等販売事業

① 仙台市作並・定義地区観光案内所における物品販売

仙台市作並・定義地区観光案内所において、観光客を対象に土産品等の販売を行い、土産品の販売拡大と観光客へのサービスの充実を図った。

- ・JR作並駅売店における土産品、JR乗車券販売

年間販売実績	1,796,139円（前年度比94.2%）
--------	-----------------------

② 物産品販売事業

仙台で開催されるコンベンションや県内外で開催される催事等において、仙台の物産・銘産品の販売を実施し、物産振興と販路拡張を図った。

i. るーぷる仙台チョコQの作成及び名刺台紙の販売

- ・販売実績

品名	平成31年4月1日～令和2年3月31日
るーぷる仙台チョコQ	4,199,896円（前年度比101.5%）
名刺台紙	37,030円（前年度比47.8%）

- ・るーぷる仙台チョコQ（市電カラー）新色作成・発売

ii. 仙台・青葉まつりと連携した仙台駅銘品・工芸品フェアの開催

仙台・青葉まつりの開催日と合わせた期間設定を行い、JR仙台駅及び祭り会場で銘品・工芸品の販売を行うとともに、仙台・青葉まつり機運の醸成と集客を図り物産・観光振興に繋がった。姉妹都市の物産品を販売し、交流を図った。

- ・期 間 : 令和元年5月14日(火)～5月19日(日)
- ・出店者数 : 23社
- ・総 売 上 : 9,054,543円(前年度比108.1%)

iii. コンベンション会場における物産販売

- ・実施件数 2件
- ・総 売 上 745,244円